

2.4 一般財団法人札幌市環境事業公社

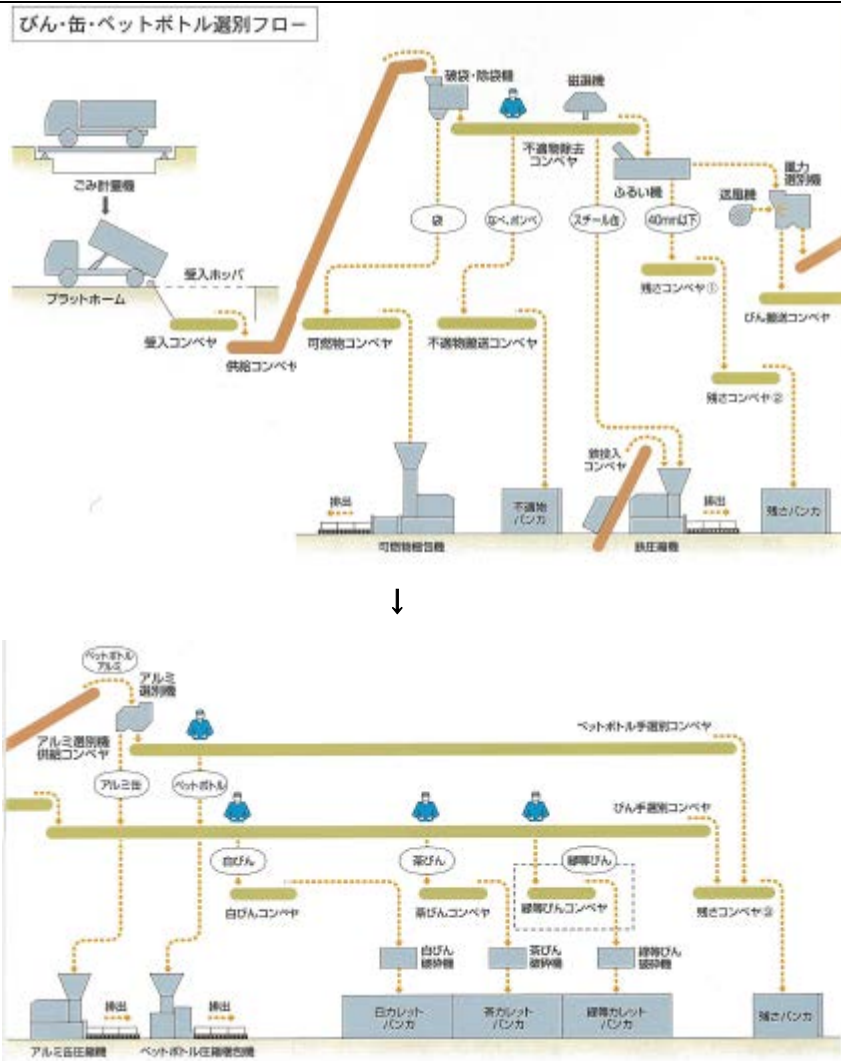
2.4.1 事業者情報

名 称	一般財団法人札幌市環境事業公社			
本社住所	〒060－0031	札幌市 中央区 北 1 条 東 1 丁目 サン経成ビル		
資本金、出資金	4,000 万円			
従業員数	78 人			
設立年月日	平成 2 年			
URL	http://www.kankyou-sapporo.jp			
事業概要	・調査啓発事業 ・不燃用プリペイド袋リサイクル事業 ・資源化事業 ・事業系ごみ収集運搬事業			
事業所写真				
問合せ先窓口	部署名	施設部 調整課		
	担当者名	井鳥 太郎		
	連絡先	電話番号	011－219－2053	
		FAX	011－219－0882	
		E メールアドレス	itori@kankyou-sapporo.jp	

2.4.2 技術情報

キーワード	びん・缶・ペットボトル
技術名称	資源選別(びん・缶・ペットボトル)
技術の分類	選別及び減容・圧縮
目的・用途	資源物(びん・缶・ペットボトル)を選別しリサイクルする
特長	混合収集された資源物(びん・缶・ペットボトル)を品目ごとに選別し、圧縮・梱包等の処理を行い再商品化事業者へ引き渡して再生利用している
設備、製品等の写真、イメージ	<div> <div> <p>ペットボトル梱包物</p>  <p>選別された資源物 (びん・缶・ペットボトル)</p> </div> <div> <p>アルミ圧縮物</p>  <p>中沼資源選別センター (びん・缶・ペットボトル選別施設)で 再選別し、圧縮・梱包した資源物(例)</p> <p>アルミ缶</p> <p>ペットボトル</p> </div> <div> <p>スチール圧縮物</p> </div> </div> <div>  <p>●木くず主体ごみ → 破砕機 → ●木くず</p> <p>●紙くず主体ごみ → 破砕機 → ●紙くず</p> <p>●廃プラ主体ごみ → 破砕機 → ●プラスチック</p> <p>●成形工程 前処理を終えた原料を成形機で圧縮し、固形化します。圧縮時に発生する摩擦熱で原料の組成成分であるプラスチックを溶かし、固形化に必要な接着の役目を果たしています。</p> </div>

処理フロー図



廃棄物の種類	一廃・産廃	びん	受入条件、形状	
	一廃・産廃	缶(スチール、アルミ)	受入条件、形状	
	一廃・産廃	PETボトル	受入条件、形状	
供給資源・製品	スチール		形状	圧縮物 (65cm × 65cm × 22cm)
	アルミ		形状	圧縮物 (65cm × 65cm × 22cm)
	ペットボトル		形状	梱包品 (64cm × 43cm × 35cm)
	ガラスびん		形状	カレット

アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例) 処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	びん・缶・ペットボトル混合状態での受け入れが可能な為、混合収集を実施できる。また一年を通して安定処理できる施設である。
	製品購入者側のメリット	例) 環境負荷削減効果、製品の品質、販売価格、等	容器包装リサイクル協会が指定する品質基準の製品が一年を通して安定的に供給できる。
	その他	例) 受賞歴、施設見学受入者数、等	施設見学者数 平成 24 年度実績 3,295 人

2.4.3 実績情報


	品目名	平成 20 年度	平成 24 年度	単位
処理実績量の推移	アルミ	1,410.93	2,343.62	t
	スチール	2,037.10	2,317.32	t
	ペットボトル	4,348.05	4,833.44	t
	白びん	1,969.44	3,064.49	t
	茶びん	1,813.57	2,683.17	t
	その他びん	1,240.46	2,198.93	t
受入可能量	びん缶ペットボトル混合	－	約 28,000	t
販売実績量の推移	アルミ	1,410.93	2,343.62	t
	スチール	2,037.10	2,317.32	t
主な調達先	札幌市内家庭から排出される資源物(びん・缶・ペットボトル) 札幌市内事業所から排出される資源物(びん・缶・ペットボトル)			
主な供給先	再商品化事業者(ガラス・金属・PET)			

8.4 株式会社リーテム

8.4.1 事業者情報

名 称	株式会社リーテム		
本社住所	〒101－0021	東京都千代田区外神田三丁目 6 番 10 号	
資本金、出資金	100,000 千円		
従業員数	146 人		
設立年月日	昭和 26 年 6 月 2 日		
URL	http://www.re-tem.com/		
事業概要	資源のリサイクル及びリユース / 製鋼原料及び非鉄貴金属原料の売買 / 建築物・工作物の解体・移設・撤去 / 資源循環・リサイクルに関するコンサルティング / エコインダストリアルパークなどにおけるリソースマネジメント及びエコセンターマネジメント / 産業廃棄物処分(中間) / 産業廃棄物収集運搬 / 一般廃棄物処分		
事業所写真			
問合せ先窓口	部署名	マネジメント推進部	
	担当者名	工藤 博之	
	連絡先	電話番号	03-5256-7041
		FAX	03-3251-5805
		E メールアドレス	hiroyuki-kudo@re-tem.com

8.4.2 技術情報(1)

キーワード	高性能特殊破砕機による高精度リサイクル
技術名称	破砕・選別技術
技術の分類	破砕・選別
目的・用途	高性能特殊破砕機を導入し、鉄スクラップのリサイクルと共に、鉄以外の有用な非鉄貴金属を選別リサイクルしています。
特長	SET 内の東京工場と水戸工場の2工場で連携：東京工場で破砕処理した非鉄金属混合物を水戸工場ですらに高品位処理、金銀銅滓、ステンレス、アルミニウム等に細かく選別し、埋め立て処分向けの廃棄物の発生を無くし、ゼロエミッションを達成させています。
設備、製品等の写真、イメージ	

処理フロー図

東京工場の処理フロー



*木くず(物品賃貸業に係る木くず及び貨物の流通のために使用したパレットに限る)は、破砕後2次委託先で再資源化処理をしています。

廃棄物の種類

産廃	廃プラスチック類(PET除く)	受入条件、形状	爆発危険物、腐食等危険物、放射性危険物は受入不可
産廃	廃小型家電類(家電4品目以外)	受入条件、形状	爆発危険物、腐食等危険物、放射性危険物は受入不可
産廃	その他金属くず(品目:金属系複合材・電子電気機器・情報通信機器)	受入条件、形状	爆発危険物、腐食等危険物、放射性危険物は受入不可
産廃	ガラスくず	受入条件、形状	
産廃	その他(コンクリートくず)	受入条件、形状	
産廃	陶磁器くず	受入条件、形状	
産廃	廃木材	受入条件、形状	爆発危険物、腐食等危険物、放射性危険物は受入不可
有償	その他(金属くず・廃プラ類)	受入条件、形状	爆発危険物、腐食等危険物、放射性危険物は受入不可
一廃	その他(普通ごみ)	受入条件、形状	爆発危険物、腐食等危険物、放射性危険物は受入不可

供給資源・製品	鉄シュレッダー		形状	シュレッダー機械加工したもの
アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例) 処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	<ul style="list-style-type: none"> ・埋め立て処分向けの廃棄物の発生を無くし、ゼロエミッションを達成させています。 ・施錠保管、監視カメラ等万全を期すセキュリティ体制により情報漏洩や盗難を防止します。 ・再資源化完了報告書の発行サービスを実施しています。 	
	製品購入者側のメリット	例) 環境負荷削減効果、製品の品質、販売価格、等	高性能特殊破碎設備及び2工場の連携により、高品位処理、金銀銅滓、ステンレス、アルミニウム等に細かく選別しており、純度が高い製品となります。	

8.4.3 技術情報(2)

キーワード	収集→処分→新規設置の一括請負によるワンストップサービス
技術名称	収集運搬技術
技術の分類	収集・運搬・保管
目的・用途	廃棄物・有価物の収集運搬
特長	貨物自動車運送事業(青ナンバー)を取得し、当工場への収集運搬の他、新しい什器・備品等の運搬・設置作業等も行い、業務管理の一元化をご提供しています。
設備等の写真	

廃棄物の種類	産廃	廃プラスチック類(PET除く)	受入条件、形状	爆発危険物、腐食等危険物、放射性危険物は受入不可
	産廃	廃小型家電類(家電 4 品目以外)	受入条件、形状	爆発危険物、腐食等危険物、放射性危険物は受入不可
	産廃	その他金属くず(品目:金属系複合材・電子電気機器・情報通信機器)	受入条件、形状	爆発危険物、腐食等危険物、放射性危険物は受入不可
	産廃	ガラスくず	受入条件、形状	
	産廃	その他(コンクリートくず)	受入条件、形状	
	産廃	陶磁器くず	受入条件、形状	
	産廃	廃木材	受入条件、形状	爆発危険物、腐食等危険物、放射性危険物は受入不可
アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット		例)処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	貨物自動車運送事業(青ナンバー)を取得し、当工場への収集運搬の他、新しい什器・備品等の運搬・設置作業等も行い、業務管理の一元化をご提供しています。

8.4.4 実績情報

	品目名	平成 20 年度	平成 24 年度	単位
処理実績量の推移	金属くず	4,700	9,900	t
	廃プラスチック類	1,200	2,200	t
	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	280	590	t
	木くず	12	110	t
受入可能量	混合物	-	80,000	t
販売実績量の推移	金属くず	4,700	9,900	t
主な調達先	主に製造業、リース業など			
主な供給先	主に製鉄業など			

<p>技術開発の実績 (過去 5 年間)</p>	<p>平成 23 年 3 月より独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO) 助成事業「電子基板等からのタンタル回収の実用化にむけた研究開発」(以下、本事業)を実施し、その結果、世界初の電子基板からのタンタルコンデンサ回収のための実用可能なラインを構築しました。</p>
<p>海外展開の実績 (過去 5 年間)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・中国太倉市の自社工場と国内自社工場の連携により、廃プラ類やハーネス類を中心に国際資源循環へ取り組んでいる。 ・中国天津市の天津経済技術開発区(TEDA)で EID の実現を目指して事業展開を進めている。 <p>平成 22 年より経済産業省「茨城県-天津市循環型都市協力事業」として 3 年間、現地で工業系廃棄物のマテリアルフロー調査や産官学の協力体制づくり、廃棄物の管理報告制度の試験導入に取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アジア諸国を中心に、海外拠点における廃電気電子機器等のリサイクル技術および設備の導入展開を行っている。
<p>補助金等支援策の活用実績(過去 5 年間)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・環境省「使用済小型家電の回収モデル事業(茨城県事業運営業務)」(H.20-H.22 年) ・経済産業省「茨城県-天津市循環型都市協力事業」(H.22-H.25 年) ・NEDO「電子基板等からのタンタル回収の実用化研究」(H.23-H.24 年) ・環境省「静脈産業の海外展開促進のための実現可能性調査等支援事業」(H.24-H.25 年) ・経済産業省「インフラ・システム輸出促進調査等」(H.24-H.25 年)

14.1 株式会社 DINS 堺 RAC 事業所

14.1.1 事業者情報

名 称	株式会社 DINS 堺 RAC 事業所		
本社住所	〒592－8331	大阪府堺市西区築港新町四丁 2 番 3 号	
資本金、出資金	96,000 千円		
従業員数	47 名		
設立年月日	平成 16 年 3 月 25 日		
URL	http://www.dinsgr.co.jp/dins_sakai/		
事業概要	24,000m ² の敷地に、11,000m ² の建屋という広大な敷地にて建設現場や工場からの混合廃棄物を受け入れ、高度選別によって製紙や鉄・非鉄の精錬工程に提供するマテリアル原料を確保。また、良質な可燃物やリサイクル原料は、大栄環境グループの各施設へ送られ、サーマルリサイクル及び路盤材や無水石膏、RPF などの再生製品となり、再資源化の促進に貢献している。		
事業所写真			
問合せ先窓口	部署名	株式会社 DINS 堺 総務グループ	
	担当者名	室賀 英治	
	連絡先	電話番号	072-245-7777
		FAX	072-245-7930
		E メールアドレス	muroga8584@dinsgr.co.jp

14.1.2 技術情報(1)

キーワード	収集、運搬、保管、非飛散性アスベスト			
技術名称	産業廃棄物の収集運搬、積替え保管			
技術の分類	収集・運搬・保管			
目的・用途	排出事業者様の現場（建築現場、解体現場、工場等）から排出される廃棄物を適切に運搬する。			
特長	排出事業者様の現場にコンテナの設置を行い、お客様の要望に応じて適時引取りに伺う。運搬時に飛散・漏洩する事が無いよう、コンテナ上部にシート掛けを行う。また、非飛散性アスベストについては、客先にてフレコン2重梱包を行って頂き、弊社保管ヤードにて適切に積替え保管を行う。			
設備、製品等の写真、イメージ				
処理フロー図				
廃棄物の種類	産廃	古紙	受入条件、形状	見積書による
	一廃・産廃	廃木材	受入条件、形状	見積書による
	産廃	繊維くず	受入条件、形状	見積書による
	産廃	可燃ごみ	受入条件、形状	見積書による
	産廃	廃プラスチック類（PET除く）	受入条件、形状	見積書による
	産廃	ゴムくず	受入条件、形状	見積書による
	産廃	ガラスくず	受入条件、形状	見積書による
	産廃	陶磁器くず	受入条件、形状	見積書による
アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例）処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	収集運搬、中間処理、最終処分（グループ会社処分場）の一連の処理委託により、安心・信頼して廃棄物処理を委託出来る。	
	製品購入者側のメリット	例）環境負荷削減効果、製品の品質、販売価格、等	全車NOx・PM法基準適合車を使用。弊社はエコアクション21を取得しており、アイドリングストップ、エコ運転を心掛けている。エコ運転については、デジタコにて点数管理。	

14.1.3 技術情報(2)

キーワード	破砕、選別、高度選別、屋内処理、建設系廃棄物、工場系廃棄物			
技術名称	産業廃棄物の破砕・選別			
技術の分類	破砕・選別			
目的・用途	排出事業者様の現場（建築現場、解体現場、工場等）から排出される廃棄物を適切に破砕・選別し、有価物、リサイクル原料、可燃物、不燃物に分け、循環型社会を構築する。			
特長	高度選別施設、屋内処理、500t/日の処理能力			
設備等の写真	 <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 5px;"> 粗選別ヤード 一次手選別コンベア 破砕機 比重差選別機 </div>			
処理フロー図				
廃棄物の種類	産廃	古紙	受入条件、形状	見積書による
	一廃・産廃	廃木材	受入条件、形状	見積書による
	産廃	繊維くず	受入条件、形状	見積書による
	産廃	可燃ごみ	受入条件、形状	見積書による
	産廃	廃プラスチック類（PET除く）	受入条件、形状	見積書による
	産廃	ゴムくず	受入条件、形状	見積書による
	産廃	ガラスくず	受入条件、形状	見積書による
	産廃	陶磁器くず	受入条件、形状	見積書による
供給資源・製品	廃プラスチック類（梱包）		形状	梱包物
	ダンボール		形状	梱包物
	廃石膏ボード		形状	破砕後物
	スクラップ		形状	

アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例)処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	収集運搬、中間処理、最終処分(グループ会社処分場)の一連の処理委託により、安心・信頼して廃棄物処理を委託出来る。
	製品購入者側のメリット	例)環境負荷削減効果、製品の品質、販売価格、等	廃棄物から捻出した原料をリサイクルすることによって、製品購入者側の環境負荷削減活動に寄与出来る。
	その他	例)受賞歴、見学受入者数等	平成 24 年度 RAC 事業所見学者数 228 名

14.1.4 実績情報

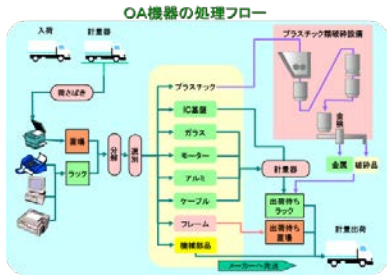
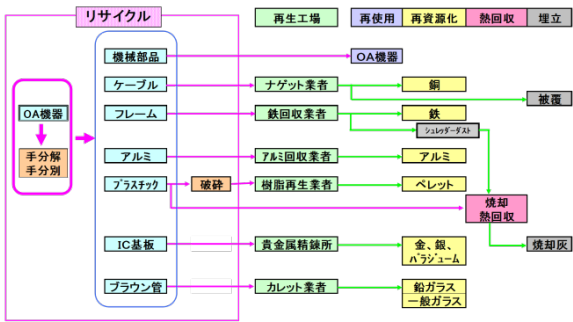
	品目名	平成 20 年度	平成 24 年度	単位
処理実績量の推移	混合廃棄物	67,795	61,818	t
	廃プラスチック類	1,863	4,447	t
	紙くず	14	20	t
	木くず	1,773	1,420	t
	がれき類	7,624	1,952	t
	ガラス陶磁器くず	3,570	5,405	t
	金属くず	216	5	t
受入可能量	廃プラスチック類	500	500	t
	紙くず			
	木くず			
	繊維くず			
	ゴムくず			
	金属くず			
	ガラスくず			
	がれき類			
販売実績量の推移	製鋼原料	355	1,014	t
	RPF 原料	483	990	t
	製紙原料	6	103	t
	廃プラスチック (塩ビパイプ)	0	28	t
	再生プラスチック原料	0	19	t
主な供給先	大栄環境グループ、セメント会社、スクラップ会社、古紙リサイクル業者			
設備投資の実績 (過去 5 年間)	収集車両追加			
その他実績	産業廃棄物処分業許可・一般廃棄物処分業許可 計量証明事業登録 エコアクション 21 認定 消防協力事業所 登録(堺市消防局)			

22.2 株式会社リサイクルテック

22.2.1 事業者情報

名 称	株式会社リサイクルテック		
本社住所	〒 808-0021	北九州市八幡西区黒崎三丁目 9-24 ニッセイ新黒崎ビル 5F	
資本金、出資金	30,000 千円		
従業員数	26 人		
設立年月日	平成 10 年 12 月		
URL	http://www.shinryo-gr.com		
事業概要	使用済 OA 機器のリサイクル		
事業所写真			
問合せ先窓口	部署名	株式会社 リサイクルテック	
	担当者名	越治 昭彦	
	連絡先	電話番号	093-752-5322
		FAX	093-752-5323
		E メールアドレス	5600881@shinryo-gr.com

22.2.2 技術情報

キーワード	OA 機器リサイクル、パソコンリサイクル、ゲーム機リサイクル			
技術名称	使用済み OA 機器、パソコン、ゲーム機、ATM 等の解体・リサイクル			
技術の分類	破碎・選別			
目的・用途	OA 機器、電気・電子機器などを分解・分別し再資源化し、新たな機器の部品、材料として提供する。			
特長	引き取った電気・電子機器を材質・材料ごとに一つ一つ丁寧に分解・分別を行って新たな機器などの部品や材料として提供します。			
設備、製品等の写真、イメージ	 <p>OA機器の処理フロー</p> <p>この図は、OA機器の処理プロセスを示しています。左側には「入荷」「計量器」「選別機」などの設備が並び、右側には「プラスチック類」「IC基板」「ガラス」「モーター」「アルミ」「ケーブル」「フレーム」などの部品が分別されています。最終的に「資源物」として排出されます。</p>			
処理フロー図	 <p>OA機器リサイクルのしくみ</p> <p>この図は、OA機器のリサイクルプロセスを詳細に示しています。左側には「OA機器」が「手分解」「手分別」を経て「機械部品」「ケーブル」「フレーム」「アルミ」「プラスチック」「IC基板」「ブラウン管」などに分類されます。右側には、それぞれが「ナゲット業者」「鉄回収業者」「アルミ回収業者」「樹脂再生業者」「貴金属精錬所」「カレット業者」などに送られ、最終的に「再生工場」「再使用」「再資源化」「熱回収」「埋立」などの処理を経ます。下部には「リサイクル率 99% 以上」と記載されています。</p>			
廃棄物の種類	一廃	廃小型家電類 (家電4品目以外)	受入条件、形状	
	産廃	廃プラスチック類	受入条件、形状	
	産廃	その他金属くず(品目:)	受入条件、形状	
	産廃	ガラスくず	受入条件、形状	
供給資源・製品	プラスチック		形状	圧縮梱包、ペレット
	IC 基板		形状	フレコン
	非鉄金属、鉄スクラップ		形状	フレコン、バラ

アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例) 処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	二酸化炭素削減効果は以下の通り。(CO2-kg/台) コピー機 -86.925 ノートパソコン -0.529 デスクトップパソコン -5.547
	その他	例) 受賞歴、施設見学受入者数、等	年間見学者数約 3,000 人(H24 年度)

22.2.3 実績情報

	品目名	平成 20 年度	平成 24 年度	単位
処理実績量の推移	廃プラスチック	3,177	4,500	t
	金属くず	76	46	t
	ガラスくず	0	4	t
受入可能量	廃プラスチック	-	5,000	t
	金属くず	-	100	t
	ガラスくず	-	10	t
販売実績量の推移	プラスチック	非公開	非公開	t
	IC 基板	非公開	非公開	t
	非鉄金属、鉄スクラップ	非公開	非公開	t
主な調達先	OA 機器メーカー			
主な供給先	樹脂再生業者、金属回収業			
設備投資の実績 (過去 5 年間)	非公開			

22.5 株式会社ジェイ・リライツ

22.5.1 事業者情報

名 称		株式会社ジェイ・リライツ	
本社住所		〒808－0021	福岡県北九州市若松区響町一丁目 62 番地の 17
資本金、出資金		275,000 千円	
従業員数		14 人	
設立年月日		平成 12 年	
URL		http://www.j-relights.co.jp	
事業概要		・使用済み蛍光管及び使用済み乾電池のリサイクル事業	
事業所写真			
問合せ先窓口	部署名	管理部	
	担当者名	永浜 慎一郎	
	連絡先	電話番号	093-752-2386
		FAX	093-752-2387
		E メールアドレス	j-nagaha@j-relights.co.jp

22.5.2 技術情報

キーワード	蛍光管、乾電池、リサイクル蛍光管			
技術名称	蛍光管リサイクル技術			
技術の分類	破碎・選別			
目的・用途	使用済み蛍光管を「ガラス」「金属」「蛍光粉」「水銀」の原料に分離、蛍光管の再資源化原料等として使われています。			
特長	使用済み蛍光管の処理による回収した再資源化原料を使用してリサイクル蛍光管を製造(OEM)、販売しています。			
設備、製品等の写真、イメージ	 			
処理フロー図				
廃棄物の種類	一廃	使用済み蛍光灯	受入条件、形状	原型管
	産廃	ガラスくず、金属くず、廃プラスチック類	受入条件、形状	
	一廃	使用済み一次電池	受入条件、形状	一次電池は水銀を含有しない
	産廃	汚泥、金属くず	受入条件、形状	

供給資源・製品	ガラスカレット		形状	
	蛍光体		形状	
	アルミ・鉄類		形状	
	水銀		形状	
アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例) 処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	・焼却埋立処分されずに資源を再利用することで、使用済み蛍光管処理による平成 24 年度 CO2 低減効果は▲396 トン CO2(北九州市立大学 松本教授作成による CO2 排出量計算ソフト使用による試算値)、また資源の節減による環境影響の抑制や水銀による環境汚染の防止に貢献できる。	
	製品購入者側のメリット	例) 環境負荷削減効果、製品の品質、販売価格、等	・リサイクル蛍光管を購入することで、資源の節減に貢献できる。	
	その他	例) 受賞歴、施設見学受入者数、等	・平成 21 年度資源循環・システム表彰(経済産業省技術環境局長)他 ・5,000 人/年の施設見学受入	

22.5.3 実績情報

	品目名	平成 20 年度	平成 24 年度	単位
処理実績量の推移	使用済み蛍光管	2,114	1,858	t
	使用済み乾電池	852	774	t
受入可能量	使用済み蛍光管	－	18.3	t/日(12 時間)
	使用済み乾電池	－	5.6	t/日(8 時間)
販売実績量の推移	リサイクル蛍光管	83.4	48.4	千本
主な調達先	・中四国以西の自治体及び企業(使用済み蛍光管及び使用済み乾電池) ・東芝ライテック(リサイクル蛍光管)			
主な供給先	・ガラスチューブメーカー(ガラスカレット) ・自治体及び企業(リサイクル蛍光管)			

技術開発の実績 (過去 5 年間)	・使用済み蛍光管からのレアアース回収、再資源化 (福岡県等との共同プロジェクト)
設備投資の実績 (過去 5 年間)	非公開
補助金等支援策の活用実績(過去 5 年間)	・北九州市「回収蛍光粉の高品位化」(H25 年度)

22.9 株式会社 NRS

22.9.1 事業者情報

名 称	株式会社 NRS		
本社住所	〒808－0021	福岡県北九州市若松区響町 1 丁目 79-1	
資本金、出資金	20,000 千円		
従業員数	60 人		
設立年月日	平成 20 年		
URL	http://www.nrs-inc.co.jp/		
事業概要	・産業廃棄物処理全般(木くず、紙くず、廃プラスチック類、ガラスくず、がれき類、金属くず、繊維くず、ゴム屑)を取り扱っています。 ・九州エリア及び山口県の収集運搬許可を有しています。		
事業所写真			
問合せ先窓口	部署名	管理部	
	担当者名	荒木	
	連絡先	電話番号	093-752-6100
		FAX	093-752-6111
		E メールアドレス	araki@nrs-inc.co.jp

22.9.2 技術情報

キーワード	廃石膏ボード		
技術名称	廃石膏ボードリサイクル技術		
技術の分類	破碎・選別		
目的・用途	分離した石膏粉は、石膏ボード原料・セメント原料として再利用します。石膏紙は、製紙原料として再利用します。		
特長	新築工事や解体の建設現場などから発生する廃石膏ボードを各業者様から収集し、リサイクルすることで環境への配慮はもちろん、大切な資源を無駄なく利用することができます。		
設備、製品等の写真、イメージ			
処理フロー図			
廃棄物の種類	産廃	ガラスくず	受入条件、形状 固形状・バラ

22.9.3 実績情報(1)

	品目名	平成 20 年度	平成 24 年度	単位
処理実績量の推移	木くず	740	1,050	t
	紙くず	30	80	t
	廃プラ	1,110	1,580	t
	繊維くず	310	800	t
	ガラスくず	320	530	t

受入可能量	木くず	-	1,500	t
	紙くず	-	150	t
	廃プラ	-	1,700	t
	繊維くず	-	1,000	t
	ガラスくず	-	1,000	t
販売実績量の推移	再生石膏粉	-	530	t
主な調達先	主に建設業など			
主な供給先	主にセメント業、製紙業など			

22.9.4 実績情報(2)


	品目名	平成 20 年度	平成 24 年度	単位
処理実績量の推移	がれき類	240	330	t
	廃石膏ボード	4,630	11,860	t
	混合廃棄物	11,250	9,330	t
受入可能量	がれき類	-	500	t
	廃石膏ボード	-	15,000	t
	混合廃棄物	-	12,000	t

22.15 コカ・コーラウエスト販売機器サービス株式会社 （北九州さわやかリサイクルセンター）

22.15.1 企業情報

名 称	コカ・コーラウエスト販売機器サービス株式会社（北九州さわやかリサイクルセンター）			
本社住所	〒811-3125	福岡県古賀市谷山 871 番地 （北九州さわやかリサイクルセンター：福岡県北九州市若松区響町 1-105-16）		
資本金、出資金	22,350 千円			
従業員数	800 人（北九州さわやかリサイクルセンター：30 人）			
設立年月日	昭和 47 年（北九州さわやかリサイクルセンター：平成 15 年）			
URL	http://www.ccwest.co.jp/			
事業概要	■缶・ビン・PET ボトルのリサイクル部門 【圧縮】コカ・コーラウエスト株式会社の事業所から排出される廃プラスチック類、金属くずを選別後、圧縮し、売却する。 【破碎】コカ・コーラウエスト株式会社の事業所から排出されるガラスくずを破碎し、最終処分を委託する。 ■廃棄自販機のリサイクル部門 【圧縮】コカ・コーラウエスト株式会社の事業所から排出される廃棄自動販売機を圧縮し、売却する。			
事業所写真	<div><div>空容器処理施設</div><div></div></div> <div><div>廃棄自販機処理施設</div><div></div></div>			
問合せ先窓口	部署名	機器管理部 北九州さわやかリサイクルセンター		
	担当者名	川本 祥平		
	連絡先	電話番号	093-752-1881	
		FAX	093-752-1884	
		E メールアドレス	shouhei-kawamoto@ccwest.co.jp	

22.15.2 技術情報(1)

キーワード	空容器			
技術名称	選別/圧縮			
技術の分類	破碎・選別 減容・圧縮			
目的・用途	自動販売機横の回収ボックスから自社回収した使用済空容器を中間処理し、売却する。			
特長	コカ・コーラウエストグループをあげて循環型社会の実現に取り組んでおり、事業所から排出されるも廃棄物をリサイクルする施設をグループ自ら有している点。			
設備、製品等の写真、イメージ				
処理フロー図	<p>処理方式</p> <pre> graph TD A[受入ホッパにショベルで ビニール袋入りの 廃プラスチック類・金属くずを投入] --> B[供給コンベヤで運ばれ、 破集袋機でビニール袋が破られる] B --> C[その後、磁選コンベヤで、 磁選機によりスチール缶（金属くず）が選別され、圧縮機で圧縮処理 機械型番：WFP1-30] B --> D[破られた袋は、外部へ処理委託] C --> E[その後、手選別コンベヤで、 手選別によりペット（廃プラスチック類）が選別され、圧縮機で圧縮処理 機械型番：YB-40P-A-31] E --> F[その後、手選別コンベヤで、 手選別により湯（ガラスくず）が選別され、破碎機で破碎処理される 機械型番：T-5] F --> G[その後、手選別コンベヤで、 最後に残ったアルミ缶（金属くず）が選別機で選別され、圧縮機で圧縮 機械型番：WFP1-15] </pre>			
廃棄物の種類	産廃	PETボトル	受入条件、形状	固形状
	産廃	廃プラスチック類(PET除く)	受入条件、形状	固形状
	産廃	その他金属くず (品目：スチール缶、アルミ缶)	受入条件、形状	固形状
	産廃	ガラスくず	受入条件、形状	固形状

アピールポイント	廃棄物等 排出者側 のメリット	例) 処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	コカ・コーラウエストグループは、これからの環境問題の解決には企業が大きな責任・役割を果たす必要があると考え、2003 年 10 月、北九州エコタウン地区に空容器の再資源化を推進するためのリサイクル施設「北九州さわやかリサイクルセンター」を建設し、運営を開始いたしました。これは、循環型社会の実現に向けた取り組みの一步であると考えています。
	その他	例) 受賞歴、施設見学受入者数、等	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 22 年、北九州市より「産業廃棄物処理業優良業者」選定 ・平成 23 年、国より「平成 23 年度循環型社会形成推進功労者等環境大臣表彰」受賞 ・平成 25 年、福岡県より「平成 24 年度ゼロエミッション推進処理事業者知事表彰」受賞

22.15.3 技術情報(2)

キーワード	廃棄自動販売機		
技術名称	圧縮		
技術の分類	減容・圧縮		
目的・用途	老朽化や損傷により使用不能となった販売機器を中間処理し、売却する。		
特長	コカ・コーラウエストグループをあげて循環型社会の実現に取り組んでおり、自販機は飲料ビジネスに直結するものであるが、その廃棄に至るまで処理する施設をグループ自ら有している点。		
設備等の写真			
処理フロー図	<p>圧縮施設 処理方式</p> <pre> graph TD A[廃棄自販機を受け入れ、フロンガスを回収する] --> B[フロンガスは処理を委託] A --> C[手作業で廃棄自販機の解体を行い、コンデンサーや配線・機番などの有価物を取り除く。] B --> D[コンデンサーや配線・機番などの有価物は売却する。] C --> E[廃棄自販機をリフトでプレス機に投入し、圧縮し、売却する。] E --> F[ガラスくず(廃蛍光灯)は処理を委託] </pre> <p>機械型番: KSP-290AS(R)</p>		

廃棄物の種類	産廃	ガラスくず	受入条件、形状	固形状
	産廃	廃プラスチック類(PET除く)	受入条件、形状	固形状
	産廃	その他金属くず(品目:自販機本体)	受入条件、形状	固形状
アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例)処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	コカ・コーラウエストグループは、2003 年、北九州エコタウン地区に空容器の再資源化を推進するためのリサイクル施設の運営開始をしておりましたが、同事業所を拡張して 2008 年、廃棄自販機の自社処理施設を新たに開設しました。循環型社会の実現に向けての取り組みを重ねております。	
	その他	例)受賞歴、見学受入者数等	廃棄自販機リサイクル施設への見学者受入 ・平成 23 年:457 名 ・平成 24 年:712 名 ・平成 25 年:733 名 平成 23 年、北九州市より、見学者を積極的に受け入れているとされ「感謝状」をいただきました。	

22.15.4 実績情報


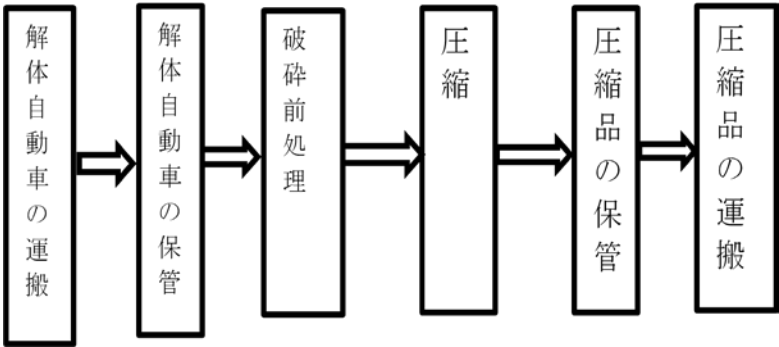
	品目名	平成 20 年度	平成 24 年度	単位
処理実績量の推移	空容器	7,177	5,663	t
	廃棄自販機	0	4,256	t
受入可能量	廃プラスチック類	－	7,860	t
	金属くず	－	19,380	t
	ガラスくず	－	9,012	t
販売実績量の推移	PET	1,176	1,065	t
	アルミ/スチール他	3,365	6,818	t
主な調達先	コカ・コーラウエストグループの事業所 空容器部門:福岡県/佐賀県/山口県の事業所 廃棄自販機部門:北部九州地方/中国地方の事業所(H26 年より南部九州地方の事業所を追加予定)			
主な供給先	非公開			

22.22 北九州 ELV 協同組合

22.22.1 事業者情報

名 称	北九州 ELV 協同組合		
本社住所	〒808－0021	北九州市若松区響町 1 丁目 62 番地 25	
資本金、出資金	1,100 千円		
従業員数	7 人(組合員数)		
設立年月日	平成 17 年		
URL	http://		
事業概要	<p>・廃自動車を購入し解体して中古パーツやエンジン等を外し 共同処理場に設置したプレス機で車輌本体部分を サイコロ型にプレスして鉄工会社等に販売する。</p>		
事業所写真			
問合せ先窓口	部署名	北九州 ELV 協同組合事務局	
	担当者名	舌間 宗俊	
	連絡先	電話番号	093-752-1185
		FAX	093-752-1186
		E メールアドレス	kitaelv@crest.ocn.ne.jp

22.22.2 技術情報

キーワード	廃プラスチック、金属くず、ガラスくず			
技術名称	廃自動車解体			
技術の分類	その他(中古部品の再利用)			
目的・用途	中古部品の再利用による資源の確保			
特長	自動車リサイクル法の適用事業所			
設備、製品等の写真、イメージ	<p>部品を取り除いた後の胴ガスを 当プレス機でサイコロ型に 圧縮する(製品)</p> 			
処理フロー図	 <pre> graph LR A[解体自動車の運搬] --> B[解体自動車の保管] B --> C[破碎前処理] C --> D[圧縮] D --> E[圧縮品の保管] E --> F[圧縮品の運搬] </pre>			
廃棄物の種類	産廃	廃プラスチック類(PET除く)	受入条件、形状	
	産廃	金属くず	受入条件、形状	
	産廃	ガラスくず	受入条件、形状	

供給資源・製品	廃自動車		形状	
アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例) 処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	枯渇性資源の節減による環境影響の抑制と CO2 排出量の削減	
	製品購入者側のメリット	例) 環境負荷削減効果、製品の品質、販売価格、等	購入価格低廉価	
	その他	例) 受賞歴、施設見学受入者数、等	・年間 100 人程度 ・産業廃棄物処理業優良業者(北九州市)	

22.22.3 実績情報


	品目名	平成 20 年度	平成 24 年度	単位
処理実績量の推移	廃自動車	23,400	19,000	台
受入可能量	廃自動車	－	32,000	台
	ガラスくず	21,247	17,274	t
主な調達先	北部九州、山口のディーラー及び自動車整備工場			
主な供給先	九州メタル、九州製鋼			

23.1 大牟田市リサイクルプラザ

23.1.1 事業者情報

名 称	大牟田市リサイクルプラザ		
本社住所	〒836－0011	福岡県大牟田市健老町 467 番地	
資本金、出資金	— 千円		
従業員数	7 人 （運転管理業務委託業者 15 人、手選別業務委託業者 15 人）		
設立年月日	平成 15 年		
URL	http://www.city.omuta.lg.jp/		
事業概要	市内の一般家庭などから排出された「大型ごみ」や「燃えないごみ」を破碎・選別などの処理を行い、鉄くず、アルミくずといった再生利用可能な金属を回収します。 また、資源物として回収された空き缶、空きびん、ペットボトル、白色トレイを機械や人の手を使って選別し、圧縮・梱包・袋詰めなどの処理を行い、再生工場へ引き渡しています。		
事業所写真			
問合せ先窓口	部署名	大牟田市環境部環境施設課	
	担当者名	江崎 雅博	
	連絡先	電話番号	0944-59-1220
		FAX	0944-59-1221
		E メールアドレス	m-esaki@city.omuta.lg.jp

23.1.2 技術情報

キーワード	リサイクル			
技術名称	大型・不燃ごみの破碎及び缶等の圧縮			
技術の分類	その他(選別・破碎及び圧縮・梱包・袋詰め・保管)			
目的・用途	ごみの減量化、資源化の促進			
特長	再生利用可能な金属の回収及び資源物の再資源化			
設備、製品等の写真、イメージ				
処理フロー図				
廃棄物の種類	一廃	古紙	受入条件、形状	リサイクル
	一廃	PETボトル	受入条件、形状	リサイクル
	一廃	ガラスくず	受入条件、形状	指定袋、従量制
	一廃	陶磁器くず	受入条件、形状	指定袋、従量制
	一廃	その他(空き缶、空きびん、白色トレイ)	受入条件、形状	リサイクル
	一廃	その他(大型ごみ、不燃ごみ)	受入条件、形状	指定袋、従量制

供給資源・製品	スチール缶、アルミ缶		形状	圧縮成型品
	ペットボトル		形状	圧縮成型品
	破碎鉄、破碎アルミ		形状	現状
	金属くず等、自転車等、電線等		形状	現状
	空き瓶(ビール瓶、一升瓶)		形状	現状
アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例) 処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	ごみ処理料金の明確さ(指定袋、従量制)リサイクルによるごみの減量	
	製品購入者側のメリット	例) 環境負荷削減効果、製品の品質、販売価格、等	手選別作業によるペット成型品の品質の良 好性	
	その他	例) 受賞歴、施設見学受入者数、等	施設見学は、市内の小学校 19 校延べ人員 819 人、市内の大人 4 組 103 人に対して実施した。(平成 24 年度)	

23.1.3 実績情報

	品目名	平成 20 年度	平成 24 年度	単位
処理実績量の推移 (ごみの搬入量を記入) 小数点以下四捨五入	大型ごみ	212	183	t
	不燃ごみ	1,285	1,296	t
	缶類	393	261	t
	びん類	1,114	1,019	t
	ペットボトル・トレイ	329	228	t
	紙類	237	146	t
	古布	33	39	t
受入可能量 (処理能力を記入) カタログ値	大型ごみ 11.5t／5h			
	不燃ごみ 10.2t／5h			
	埋立ごみ 3.8t／5h			
	びん類 6.4t／5h			
	缶 類 3.2t／5h			
	ペットボトル 0.7t／5h			
	トレイ 0.3t／5h			
販売実績量の推移 (売払い実績を記入) 小数点以下四捨五入	破碎鉄	357	274	t
	破碎アルミ	14	19	t
	スチール圧縮成型品	205	138	t
	アルミ圧縮成型品	163	144	t
	金属くず等	60	53	t
	自転車等	42	16	t
	電線等	14	10	t
	生き瓶(ビール瓶・一升瓶)	59	51	t
	PET成型品	232	220	t
主な調達先	市内の一般家庭及び事業者(一般家庭から排出されるものと同様の内容及び量に限る)			
主な供給先	市内業者を優先に、市契約検査室の不用品売り払い・金属の競争入札参加資格者名簿を参考に見積もり合せにより選出 ペットボトルについては、日本容器包装リサイクル協会			

24.2 株式会社田中商店

24.2.1 事業者情報

名 称	株式会社田中商店		
本社住所	〒862－0969	熊本県熊本市南区良町五丁目 22 番 26 号	
資本金、出資金	40,000 千円		
従業員数	30 人		
設立年月日	昭和 29 年		
URL			
事業概要	新びん、古びん、の総合卸売業として設立し、平成 12 年度水俣エコタウンの中核事業として、びんのリユース、リサイクル設備を翌年 10 月に水俣営業所を新設し、新たにガラスびんリサイクル景観舗装事業・ガラス工芸事業・BDF 事業・水資源リユース事業・古紙リサイクル事業等を展開し、水俣工場は年間 3,000 人程度の来場者が来られる見学工場になっている。		
事業所写真			
問合せ先窓口	部署名	(株)田中商店 水俣営業所	
	担当者名	専務取締役 田中利和	
	連絡先	電話番号	0966-69-2711
		FAX	0966-69-2712
		E メールアドレス	ecb-minamata@arion.ocn.ne.jp

24.2.2 技術情報

キーワード	ガラスびん			
技術名称	多品種びん対応型洗浄技術(150ml～2,000ml)			
技術の分類	ガラスびん洗浄リユース			
目的・用途	南九州における統一びんリユースシステム事業			
特長	南九州エリアの多品種に対応できるねリユースびん事業			
設備、製品等の写真、イメージ				
処理フロー図				
廃棄物の種類	有償	ガラスびん	受入条件、形状	キズ・汚れのないもの
	有償	古紙	受入条件、形状	不純物を含まないこと
供給資源・製品	洗浄びん		形状	150ml～2000ml
アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	有価物	・廃棄物処理費用負担から有価物になる。	
	製品購入者側のメリット	社会的責任・効率化	・生産者としての回収責任、レンタルケース使用での効率化	
	その他		・環境省 平成 15 年・16 年度(循環型社会形成実証事業)	

24.2.3 実績情報

	品目名	平成 20 年度	平成 24 年度	単位
処理実績量の推移	ガラスびん	5,000	6,000	t
	古紙	－	1,500	t
受入可能量	ガラスびん	－	8,000	t
	古紙	－	6,000	t
販売実績量の推移	洗浄びん	4,500	5,000	t
	古紙	－	1,500	t
主な調達先	非公開			
主な供給先	九州内の清酒・焼酎メーカー及び食品会社			